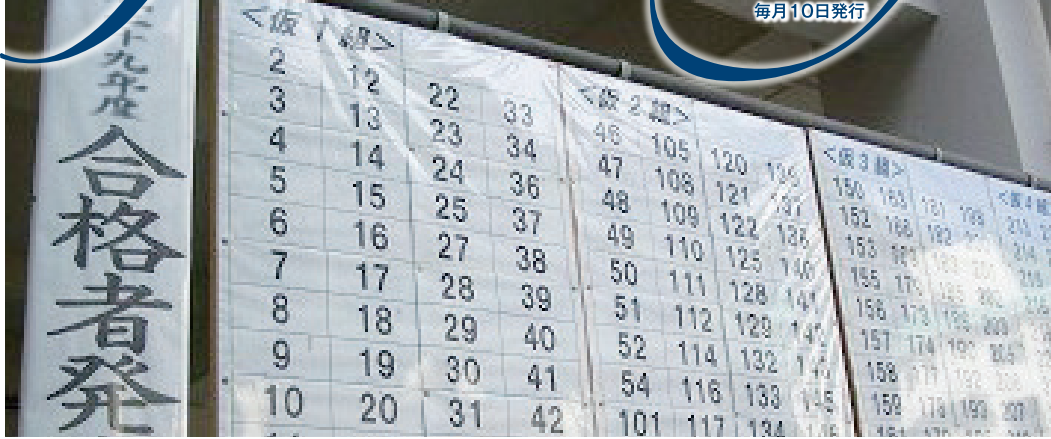


生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

【本部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467

April 2017
Vol. 56
毎月10日発行

高木 秀章(塾長)

公立高校結果 合格おめでとうございます。 生徒の皆さん・保護者の皆様、本当にお疲れ様でした。

すっかり暖かくなり桜の花が美しい季節になりました。教室の生徒も、春の訪れと共に、元気がみなぎっていくのが分かります。受験生は新しい高校生活が始まり、塾生の皆さんも、新しい学年、新しい友達と新たな学校生活をスタートさせていると思います。

今年も無事、公立高校入試が終わりました。今年度入試動向としては、高津(1.61)・四條畷(1.49)・市立東(1.35)・寝屋川(1.34)・清水谷(1.33)など人気校に競争率が集中し、二極化が一層明確になった受験といえます。入試問題傾向については後述のカイチの教育をご参照ください。

当塾の結果は、国立の大阪教育大附属平野高校に1名、トップ10校の文理学科に8名、普通科に7名、寝屋川・八尾・清水谷高校などに多数の合格者を出すことができ、全員の進路を決めることができました。受験生の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、受験生達を陰ながら支え続けたご家族の皆様、ご苦労様でした。

今年3月17日が公立高校の合格発表日でした。公立の合格発表は生徒達が受験した高校まで行き、自分の目で受験番号の有無を確認します。発表は午前10時。発表の時間と共に私達の教室では生徒からの電話が鳴ります。

「合格した!」「おめでどう!」

電話対応している先生の隣にいる私の所まで聞こえてくるほど、電話の向こうでは喜びの声が聞こえます。

そのような電話がしばらく続いた後、電話対応の先生の声色が急に変わりました。

「そうか。残念だったな。大丈夫? お母さんはそばにいる?」

合格の歓喜の中、その場所からそっと離れ、塾に連絡をするのはどれだけつらいことだろう。電話で話す先生も、子供の気持ちを察して、事務所の外に出て生徒を励まします。その後も、不合格だった生徒達が、私立の手続きと説明会を終え、結果報告に立ち寄ってくれました。中には、悔しさがこみ上げ泣いてしまう生徒もいました。

関目教室では**合格発表のこの日、公立高校に不合格だった生徒達が制服姿のまま塾に来て、自習室で私立高校の宿題に取り組む姿があったそうです。**その中の一人は、入試当日インフルエンザのため保

健室受験となり、今回、涙をのみました。

努力を重ね、実力を付けてきただけにショックも大きかったに違いありません。しかし、彼は先生達に「体調を崩したことも自分の実力。私立の校長先生に声をかけていただき、ここで頑張ろうと思えました。3年後の大学入試では、合格できなかった高校の生徒よりいい大学に行ってみせます。」と話したそうです。

受験には合否があります。合否があるから、**懸命**になれるのかもしれませんが、そして、その努力の末に不合格になったならば、その努力は全て無駄なのか。

そんなことは絶対にありません。

受験を通して培った、「諦めずに努力と工夫を続ける力」は、必ず皆さんの生きる力になります。

今回は悔しい結果に終わった人も、その力は皆さんの中にしっかり蓄えられ、必ず次の挑戦の糧になります。

どうか、今回の辛さを乗り越え、前を向いて歩んでください。

最後に彼は、「今までありがとうございました。」と、先生達にきちんと礼を言って、帰ったそうです。それは、全てを自分で飲み込み、前に進むという彼の覚悟であったと思います。

そして、**つらい不合格の連絡**をしてくれた生徒達の誰もが、同じような思いであったのではないかと思います。

私は、このことを考えるにあたり、生徒達の強さと真っ直ぐな気持ちの美しさと共に、自分達の不甲斐なさ、無力さを感じざるを得ません。

私達は、今回の結果を受け、再度、公立高校入試動向と問題の分析を行い、新年度のカリキュラムと指導についての再検討を行います。また、その中で、生徒達が最難関校である北野・天王寺高校に果敢に挑戦し力が発揮できるような、環境と指導体制作りにも積極的に取り組み、全体の指導力向上に繋げたいと考えております。

一人一人の力を引き出し、生徒達にとって受験が決して悔いの残らないものになるように、私達も子供達と同じく努力と工夫を重ねてまいります。

これからも何卒宜しくお願いいたします。



CLASSROOM REPORT 教室レポート

Growing up bilingual is a challenge!!!

～How can parents help their children study English.

目指せバイリンガル～子供の英語学習に親はどうサポートできるか？

藤川 カトリーナ (トーキングキッズ担当)

I started teaching Talking Kids last year of September. On my first day, I wanted to get the students talking. They should be talking to me and each other. I tried something different in my class. I told them at the beginning that I wanted to learn about them first. We did the getting to know icebreaker. I asked them to pick a partner to greet and introduce themselves. No one like to introduce themselves first, but when I started it everyone happily introduced themselves to each other. They tried their best using simple English. We had fun and everything went smoothly. In this article, I would like to share some ideas on how parents could help their children study or use English at home. English nowadays has an important role in our daily life. We believe our children are our future.

As we venture into another new and exciting school year, may I share my opinion or give some suggestions how parents can help their children study English. I can be parent invaluable partners in helping your children reach their full potential. Parents must first understand and believe in the importance of English Language skills. Children are adept at picking up on parental attitude. If children realize the adult in their lives don't think learning English is important, they will be less likely to approach the subject with a positive attitude.

Here's what you can do to support language

私は昨年9月にトーキングキッズでの授業を担当することになりました。初日、私は生徒たちに会話をさせたいと思いました。彼らは私に話しかけ、互いに会話をするべきなのです。

私は授業で変わった試みをしました。私ははじめに彼らのことをまず知りたいのだと伝えました。私たちは次第に打ち解けていきました。私は彼らにパートナーを選んであいさつをし、自己紹介をするように言いました。始めは誰もやりたがらなかったのですが、私が始めると皆楽しそうに互いに自己紹介をはじめました。彼らはシンプルな英語を使って頑張りました。授業は楽しく、スムーズに進みました。この記事では、子供が自宅で英語学習したり実際に使ってみる事に対して親がサポートする方法について私の考えを紹介したいと思います。英語は近年日常生活でも重要な役割を担っています。私達の子供たちが未来を創っていくのです。

わくわくする新年度が始まるこの時期、どのように親が子供の英語学習をサポートできるかについて私の考えと提案を紹介したいと思います。私は子供達の可能性を最大限に引き出す点において親御さんにとってかけがえのないパートナーになれると思います。親御さんはまず英語技能の重要性を理解し、認識しないといけません。子供達は親の態度に敏感に反応します。大人が人生において英語学習は大事ではないと考えているのを子供達が察知すると彼らは英語を積極的に学ぼうとしなくなるのです。

ここに子供たちの学校と家庭での英語学習に対して親ができるサポートを挙げてみます。

a. 親も英語を学習する

英語学習に積極的な態度を作り上げるための第一段階は親自身の行動から始まります。実際に英語を親御さん御自身が学習することで、用意された完璧な英語を読み上げるよりもまずやってみて間違えるほうがずっとためになる、ということをお子たちに示すことができます。

classes at your child's school and language learning at home.

a. Learn English Yourself

To build a positive attitude towards learning and towards English as a language, the best place to start is with yourself. By learning English yourself you can show your kids that "having a go" and making mistakes is better than only speaking when you have the perfect sentence prepared.

b. Prepare the children for school

Check their belongings pen, pencils, notebooks, books, most specially their homework. See to it nothings left in the house. Give them a healthy breakfast, since this is the first meal of the day, and encouraging them to get a goodnight's sleep.

c. Play in English

Children will naturally learn everything around them without any adult invention. At home the child and parent can practice simple English. Try the game Hide & Seek. You can practice the words like "I'm ready come and find me" "I'm coming to get you" or counting numbers 1, 2, 3, 4, 5 and so on until your child can count more than you expect.

d. Read English bedtime stories.

Children won't question the language that you are reading, they are more concern about the ritual bedtime stories. This provides great opportunity to sneak in some extra English words for the parent and child.

b. 学校の用意をチェックする

ペン、鉛筆、ノートといった持ち物、そして特に宿題をチェックしてください。忘れ物がないかを見てあげてください。一日の始まりとなる朝食は健康的なものにして、夜はよい睡眠を与えるようにしてください。

c. 英語で遊ぶ

子供たちは大人の手助けがなくても周囲のもの全てから自然と学びます。家では親子で簡単な英語を練習することができます。かくれんぼをやってみてください。親御さんが「もういいよ、さあ来て、見つけてちょうだい(I'm ready come and find me.)」「さあ、つかまえるぞ(I'm coming to get you.)」といった言葉を使ったり1, 2, 3, 4, 5と数を数えたりするうちに子供達は同じ事、いやそれ以上のことができるようになるのです。

d. 英語の読み聞かせをする

子供たちは読んでもらっている言語ではなくお話の内容に興味を持ちます。読み聞かせをすることで親子でいつの間にか英語の語彙を増やす絶好の機会を持つことができます。

e. 英語の歌を歌う

音楽やリズムに乗って、子供達は文章全体を読み、英語のイントネーション、抑揚、リズムを体得でき、英語力の自信につながります。

f. Wii、プレイステーションといったゲーム機を英語に触れるきっかけにする

近年、子供たちは読み書きを習う前にiPadや親のスマホを自在に操るようになってきており、それらには「パスワード」「ログオン」「チェック」「プレス」「ゲームオーバー」といった言葉が使われており、英語学習の有効なきっかけになります。

g. 先生とコミュニケーションをとる

先生に話しかける事は親御さんにとっても子供さんにとっても億劫になりがちです。特に英語に自信がなければ

e. Sing English Songs.

Music and rhyme help children to use full sentences, intonation, pitch, rhyme, as well as building confidence.

f. Make sure the Wii or play station is set to use English.

Now a days, before children learn to read and write, they are often confident users of iPads or their parents phones, including the language such as "password" "log on" "choose" "press" or game over can be useful starting point.

g. Communicate with the teachers.

Talking to teachers can be intimidating for parents of the students, especially if they aren't comfortable with their English skills. The level of success a child experience during a school year is definitely enhanced by communication and cooperation between the parent and teacher. Teachers are the people we parent entrust with the most precious people in our lives, the people who inspire the strongest emotion (and fears) with us. Both teacher and parent are working toward the same end, forming and facilitating the development of your child.

Thank you parents for reading my suggestions and thank you for your time. If you have questions please feel free to talk to me. I'm willing to spare time with you. We will have a great time talking about what's good for your children. Growing up bilingual is a challenge!!!

なおさらです。子供の学校の成績は間違いなく保護者と先生とのコミュニケーションと協力で伸ばすことができます。先生とは保護者の方が人生において最も信頼を寄せる存在であり、最も強くやる気を与える存在でもあります。先生と保護者は共に子供の成長を形成し、促すという同じ目的に向かって協力しているのです。

貴重なお時間を割いて私の提案を読んで頂き、ありがとうございます。もし疑問点などございましたら気兼ねなく私までお問合せ下さい。喜んでお話を伺いたいと思います。共に子供たちにとって何が良いのか話し合うことで素晴らしい機会を得ることができるでしょう。目指せ、バイリンガル！



Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

今年度の公立入試問題の傾向について

坪田 陽一 (諸口教室)

去る3月9日、公立高校入試が行われました。今回は出題された入試問題についてご紹介し、カイチとしての分析を述べておきたいと思ひます。全体的には昨年度より難しくなっています。今年受験生の人は言うに及ばず、中1、2の生徒の皆さんもいずれ通る道なので、今回のこの内容を参考に今後の学習を進めてもらえたらと思ひます。

【英語】

A、B問題の出題形式は変わらずでしたが、最も難しいC問題は、大幅な変更となりました。大阪府がサンプルとして挙げていた問題通りの形式です。主な変更点は、

Way of Reading

Reading is one of the ways to learn a foreign language. Let's think about these two ways: intensive reading and rapid reading. In this passage, we call these two ways Way A and Way B.

Intensive reading is called Way A.
Rapid reading is called Way B.

Way A is a way of reading to understand the details of the things you read.
Way B is a way of reading to understand the outline and the main points without worrying too much about the details of the things you read.
It is important for you to choose the way of reading in accordance with your purposes.

(2) Intensive reading 精読 rapid reading 速読 details 詳細
outline 概要 in accordance with ~ ~に応じて
上記文章を1分で読み取る。(Reading)

二人の会話(約400語)を聞き取る。(Listening)

Question: What does Maki think about these two ways of reading, Way A and Way B? Explain her opinions and reasons in English. You have five minutes to write. Now begin.

放送で指示。(Makiの意見とその理由を英語で説明せよ)

全ての段階でスピードが求められる!

5分で書く。(Writing)

- ①リスニング問題の増加…時間が15分から25分に増やされ、内容、配点ともに大幅な増加となりました。上はリスニングPartCの問題です。リーディング、リスニング、ライティングの3技能が高いレベルで必要とされる問題です。1日10分程度の短い時間でも、普段から英語を聞くことが重要だと思ひます。
- ②大問数が3問から9問に増加…リスニングが増やされた分、筆記に費やす時間は短くなり、更に問題数が増えました。設問自体は決して難しいものではありませんが、英文の読み書きのスピードが高いレベルで必要です。学校の教科書をきちんと勉強するだけでは太刀打ちできない問題となっています。

8割以上の高得点を取るのには厳しい問題だと言えます。受験生の皆さんは対策に苦労したのではないのでしょうか。

【数学】

問題構成は例年通りでしたが、難易度は高く、特にC問題は最後まで解くことができた受験生はそれほど多くなかったのではないのでしょうか。2つ程例を挙げます。

例1 n を自然数とするとき、 $\frac{n+110}{13}$ と $\frac{240-n}{7}$ の値がともに自然数となる n の値をすべて求めよ。求め方も書くこと。

上はC問題①の小問集合内の問題です。例年の関数ではなく整数問題で記述問題が出題されました。問題そのもの(不定方程式)は毎年問われているような内容ですが、設定条件が少し複雑で、時間内に求め方も含めて解答を作成することはかなり困難です。

②の証明問題は書かれていない円に気付くことができたかどうかポイントです。そこからさらに円周角の定理を利用して証明するわけですが、気付いてなおかつ証明まで書けた生徒はごく少数だったと思ひます。ちなみに図形は少し違いますがB問題でも同様の証明問題

が出題されていました。証明以外は作業工程が多く、速く正確に解くことが求められているのは例年通りです。

2 図1、図2において、四角形 ABCD は AB = 3 cm、AD = 6 cm の長方形である。E は辺 AD の中点である。B と E を結び、F は、線分 BE 上において A、E と異なる点である。G は直線 BF 上にあって F と E と反対側にある点であり、3 点 A、E、G を結んでできる $\triangle AEG$ は AE = AG の二等辺三角形である。

次の問いに答えなさい。答えが根号を含む数なる場合は、根号の中をできるだけ小さい自然数にするよ。

(1) 図1において、 $\triangle BEF \cong \triangle GEB$ であることを証明しなさい。

この隠れた円に気づくのがポイント!

③の空間図形も例年通りの難易度でした。ただ、取り出す平面が難関私立の相似問題に近く、公立の過去問を解いているだけでは厳しいと思ひます。過去問での対策だけでは対応するのは難しく、前例にとらわれず、原理原則をしっかりとおさえた対策が求められ、本物の知識と思考力がますます必要となっています。

【国語】

国語は昨年と形式は変わらず、現代文2題と古文1題と漢字1題です。昨年より文章の中に具体例や説明が多く、理解しやすい文章でした。設問も素直な問題が多く、記述問題は字数も減少した中で、解きやすかったのではないのでしょうか。長文のうち1題の最後の設問が右のような作文問題です。C問題は昨年と少し傾向が変わりましたが、「利点と問題点をあげて」「300字以内で自分の考えを述べる」という点では同じでした。配点が90点中20点で、ここをきちんと書けたかどうか合否を分けたのではと思ひます。全体としては易しくなっていて、得点しやすい問題だったと思ひます。

【社会】

例1 図1は、2000年(平成12)年と2014年(平成26)年における世界のGDP(国内総生産)の割合に関するものである。図1は、2000年と2014年における世界のGDP(国内総生産)の割合に関するものである。図1は、2000年と2014年における世界のGDP(国内総生産)の割合に関するものである。

例2 図2は、2000年(平成12)年と2014年(平成26)年における世界のGDP(国内総生産)の割合に関するものである。図2は、2000年と2014年における世界のGDP(国内総生産)の割合に関するものである。

文章の意味を理解し、資料から必要な数字を読み取って計算する問題。

例年通りの大問4題の構成でしたが、問題数は年々増加しています。また、「伊勢志摩サミット」「選挙権年齢引き下げ」の事事的要素が含まれていることも特徴です。問題の内容は右のような資料の読み取り、思考力、判断力を試す活用型問題、文章記述問題が昨年度に比べ多くなりました。

問題の難易度は昨年度に比べれば、少し上昇したものの、しっかりと学習していた受験生にとっては、5教科の中では一番得点しやすい教科ではなかったかと思ひます。

【理科】

皆さんが水酸化ナトリウムの製造法について調べたこと

図1は、電気分解によって水酸化ナトリウム水溶液を工業的に製造するための装置を模式的に表したものである。この装置では、陰極と陽極の間はイオン交換膜と呼ばれる特殊な膜で仕切られており、陽イオンと陰イオンのいずれか一方がしか膜を通り抜けることができない。

図2は、陽イオンと陰イオンがそれぞれ異なるイオン交換膜の2種類がある。図3、図4はそれぞれ陽イオン交換膜と陰イオン交換膜のしくみを模式的に表したものである。陽イオン交換膜は、負の電気を帯びた小さな陰イオンが通過する。陽イオン交換膜は、負の電気を帯びた小さな陰イオンが通過する。陽イオン交換膜は、負の電気を帯びた小さな陰イオンが通過する。

図5の装置を用いて純粋な水酸化ナトリウム水溶液を効率よく取り出すためには、食塩水と水酸化ナトリウム水溶液とを混ぜ合わせる必要がある。そのため、この装置で水酸化ナトリウム水溶液を製造する際には、図5中に示された①(ア)陽イオン交換膜、②(イ)陰イオン交換膜、③(ウ)陰イオン交換膜、④(エ)陽イオン交換膜で仕切って電気分解を行っている。このとき、①(ア)陽イオン交換膜では気体Pが発生し、②(イ)陰イオン交換膜では気体Qが発生するので、この装置により水酸化ナトリウム水溶液と同時にこれらの気体も製造することができる。

① 上の文の()、②、③、④から、適切なものをそれぞれ一つ選び、記号を○で囲みなさい。

イオン交換膜についての問題。思考力が必要!

大問4問で、生物、地学、物理、化学のそれぞれで大問1つを構成しているのは昨年通りで、小問の数もほぼ同じでした。問題文の総量に関しては昨年とほぼ同量ですが、昨年から文章量が増加しているため、40分の制限時間の中ですべて解答するためには、「設問を先に読み、解答に必要な情報を整理し、問題文中から探し出す」という手順に慣れる必要がある。また、受験生にとって初めて目にする状況を、情報を与えて解かせる活用型問題の出題が続いており、特に化学分野では昨年に続き教科書に記載のある物質(2016年は炭酸水素ナトリウム、2017年は水酸化ナトリウム)の製造法に絡む出題がされました。水酸化ナトリウムの工業的製造法(イオン交換膜法)は高校化学の内容であり、過去に大学入試センター試験にも出題されています。必要な情報は問題文で与えられていますから、内容や意味を理解し、更に思考する必要があるため、時間内に解答まで導くのは、相当困難だと思ひます。その他、高校内容である水和物とその濃度に絡む計算問題が出題されていますが、これも受験生にとっては見慣れない問題で、苦戦したのではと思ひます。このように理科については分量が増加し、問題も難化してきています。ただし用語や知識を問う基礎的な問題も多いので、まずはそこを落とすことのないように、苦手単元をなくすように学習に取り組んで欲しいと思ひます。

いかがでしょうか。こんな問題が受験生の皆さんの前に立ちふさがります。学校の成績でつけられる内申点も重要ですが、人気がある上位校はほとんど本番重視。このテストで高得点を叩き出し、ライバル達に勝つ必要があります。その為には、生徒の皆さんに今すぐ取り組んで欲しいことが、苦科目や単元を克服すること。ご覧通り、教科によって難易度はバラバラですが、結局は5科目の合計点数で決まります。したがって簡単な教科でまずいまして、大きく後れを取ることになります。今回であれば、国語や社会で点数を落とすまいと、かなり不利と言わざるを得ません。日々の学校や塾の授業をしっかりと受け、質問して分からないところや苦手なところを少しずつ無くしていきましょう。保護者の皆様も、一度入試問題をご覧いただき、時間があるときにでも解いてみて下さい。お子様が乗り越えやすいハードルがどれくらいなのか感じることで、おそらく声のかけ方も変わるかと思ひます。焦りは禁物ですが、早くスタートすればいいので、助走距離が長く、有利であることは間違いありません。一年後が入学に向けて、私達も生徒に寄り添い、叱咤激励しながら伴走していきます。志望校に合格するのはもちろんですが、大事なはその過程。様々な不安や焦り、苦しみにまぎれず向き合い、解決していくことで、一人の自立した人間として成長してほしいと思ひます。その為のサポートは惜しみません。

COLUMN: 先生紹介 ▶ 松尾 健吾 (関目教室)



はじめまして。関目教室で個別クラスを担当している松尾健吾と言います。

大手前高校の出身で、一昨年に京都大学文学部を卒業しました。高校時代に一番得意であり好きでもあった科目は数学です。カイチに来てまだ日は浅いですが、少しでも生徒達の役に立てるような指導ができるように一生懸命頑張っていこうと思っています。

突然ですが、今回は私の趣味の話をしようと思います。

私の趣味の一つは、小説、特に推理小説(ミステリ)を読むことです。実は、私は大学に入るまで読書の類は大がつくほど嫌いでした(文学部なのに!)。しかし、約二ヶ月もある大学の長期休暇を過ごすのに、何か普段と違うことをやってみるのもいいかと思い、手に取ったのが

一冊のミステリでした。実際に読んでみると、今のようにスラスラとは読み進めることはできなかったものの、シンプルに言うと「とても面白かった」のです。なぜ面白かったのか? 単に食わず嫌いをしていただけで、やっと読書の良さに気づけたというのもあったでしょう。ですが、ミステリというジャンルが私の好みにハマったということが大きいように思います。

きっかけとなったこのミステリは、〈本格ミステリ〉という、「謎とその論理的な解決」を主眼とするものでした。本格ミステリの中で、探偵は現場の状況や関係者の証言などの様々な手がかりから論理的に推理を組み立てて真相に迫ります。この論理的な推理の組み立ての重厚さやスマートさ、手がかりから導き出される推理の意外性を、私は「面白い」と感じたのです。

そして、本格ミステリのこれらの点を私が面白いと感じたのは、後から考えてみると、私の好きな数学の面白さに通じていたからなのではないかと思うのです。例えば、図形の面積を求めなければいけない時、その面積を求める

ためにはこの辺の長さがわかればよい、この辺の長さを求めるにはこっちの辺の長さがわかればよい、というように答えから逆算していくと解けるものがあります。一見最初に与えられる図形の既知の数値が少ないように見えても、このような着実な手順によって答えにたどり着くことのできる快感は、少ない手がかりから幾重にも推理を組み立てていく面白さに通じていると私は考えるのです。また、補助線を引いたり相似を見つけたりといった「ひらめき」を必要とする問題を解けた時の気持ちよさは、手がかりからの意外な推理の面白さに通じていると思います。

数学が好きでなかったら、ミステリを好きになっていただろうかは怪しいものです。学校の勉強は本人にとっては大変かもしれませんが、未来のどこかで何かとの運命的な出会いのきっかけとなるかもしれません。そう考えると、学校の勉強を楽しく感じられるとまではいかなくても、疎かにするのはもったいないと思えるのではないのでしょうか。ともかく、生徒達には後悔のないような学生生活を送ってほしいものです。勉強だけでなくそんなアドバイスもしてあげられればと思います。



熊谷のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 熊谷 周作 (今津教室)

合格の秘訣は、目標達成への決意を持つこと

今年も多くの受験生が志望校を目指して努力し、合格しました。彼らに共通する大きな特徴は、早い時期に目標校を決定していたことです。

今回はこの「目標を持つこと」についてお伝えしたいと思います。

マクスウェル・マルツ博士が唱えた「サイコ・サイバネティクス」では、「人間の脳には志向性があり、ある明確な目標を設定すると、無意識のうちに目標達成に向かうようになる」とあります。つまり、人間の脳は目標を一旦決めると、無意識のうちにそれを達成しようとするのだそうです。

しかし実際に、受験生を指導する経験から、目標を必ず達成するという「決意」を持たない限り、目標が達成されることはないと思います。

目標は常に、それに伴う努力とセットになっています。目標を決意するとは、志望校合格に対してあらゆる努力をする決意を持つことに他なり

ません。目標への思いが強く、達成への決意が固ければ固いほど、目標に向かう努力の足取りは力強くなります。私達が志望校の学校見学を勧めるのは、志望校合格への決意を固めてもらうためでもあります。

そして、目標を決意したなら、努力の仕方を決めそれを継続しなければなりません。塾の課題をきちんと行う以外にも、新聞の社説をまとめること、英語で日記をつけることなどもあるかもしれません。また、日々の勉強を振り返り、取り組みを工夫することも必要になります。こうした学習の原動力も、やはり目標への決意の強さです。目標を決意しそれと向き合うことで、自分の努力の方向と目標までの実力差を確認しながら進め、そのことが努力を継続する力となります。

また、時には成績が伸び悩み、勉強が手に付かないことがあるかもしれません。そのような時

も、目標への決意を再確認し、最後まで諦めず努力を続けなければなりません。

昨年度の受験生達は、4月時点で平均偏差値が前年度生を下回っていました。夏以降、授業終了後に殆ど全員が自習で残り、先生を取り合うように質問するようになった結果、11月の模試において前年度生を上回る結果となりました。

私は、目標を静かに見定め、粛々と努力する生徒の姿勢に触れたとき、自分の姿勢を正される思いがします。そこには、講師も生徒も関係なく、尊敬の気持ちがあります。

受験は、社会に出て様々な目標を達成し自己実現するために「目標を決意し、それと向き合い努力を続ける」ことを学ぶ大切な機会です。

今年も、新たに152名の受験生達を迎えました。受験は生徒達だけでなく、保護者の方にとっても、反抗期で難しくなる我が子を、愛情を持って見守るという決意が問われる時期でもあります。ご家庭で、何かありますときはご遠慮なく私達にご相談ください。

私自身は、「生徒全員を志望校に合格」させることを決意いたします。そのために、生徒と保護者の方と誠実に向き合い、できる限りの指導とサポートを行いたいと考えております。

何卒、宜しく願いいたします。